



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり
連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.132 2023年10月

9月議会 一般質問

「ヤングケアラー」ご存じですか

ヤングケアラーは「家族にケアを必要とする人がいる場合に大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子ども」とされています。

高槻市は、今回小学5年生、中学2年生全員5796人にヤング

ケアラーに対する無記名のアンケートを実施

小学5年生、中学2年生の中で約500人のヤングケアラーが

「自分がヤングケアラーにあてはまると思うか」との質問に「あてはまる」と答えた人が、小学5年生で6.4%、中学2年生で11.4%でした。

しました。このことについて質問しました。

割合から見ると、約500人がヤングケアラーと答えたことが推測されます。他の学年も調査すれば、もっと多くの人数になるのではと思います。



最高7時間もの、家族の世話を

調査項目 結果のいくつかをみると「きょうだい」の世話をしているが半数以上、母親と

答えたのは、小学生で13.5%、中学生で14.6%。父親と答えたのは小学校で10.9%、中学校で9.8%もいます。頻度はほぼ毎日が小学生で39.1%、中学

生で46.3%。平日1日にケアに費やす時間は3時間未満が小学生で35.9%、中学生で39.8%、7時間以上が小学生で7.1%、中学生で10.6%います。

母親や父親の世話と

学校や周りの大人にしてみたいこと

子どもたちの声の中では「特にない」が一番多く、「自由に使える時間がほしい」「勉強を教えてほしい」などがあげられています。「特にない」では、ヤングケアラーという

なると、家族関係や経済的な崩壊も考えられます。中でも、1日7時間家族の世話をしている児童・生徒が小学生で7.1%、中学生で9.8%います。これはもう子ども生活ではありません。

聞き取り調査を専門家と一緒にすべき

教育委員会は2年前の大阪府の調査で、高槻市全体でヤングケアラーは31人と答えています。それは教職員

自覚のないまま、家族の世話をしていることが想像できます。中には家庭の経済的な心配や、自分がしている世話をすべてを代わってほしいという声もあげられています。

の日常的な関わりなのかでの人数でした。しかし、今回のアンケート調査では31人どころか、小学5年生、中

学2年生だけでも約500人の子どものヤングケアラーの声をあげています。この声をこのままにしておくことはできません。この調査は無記名なので、これから聞き取りをした母親との関係が継続する中で、起きた事件がありました。今、他の自治体では相談窓口を設置しているところもあります。ぜひ、高槻市でも相談窓口を設置するよう、要望しました。

福祉企業委員会

国民健康保険に加入している人で産前産後期間

(4か月分)保険料が免除になります(2024年1月1日より)

国保に加入している人は自営業者やフリーランスなど多いです。社会保険料に合わせるといことで評価はできますが、生まれたばかりの子どもの場合は無料にはなりません。社会保険は家族の人数は関係ありませんが、国保は収入が同じでも家族が増えれば、それが生まれたばかりの子どもの保険料が高くなります。「子どもの保険料も無料にするよ」と訴えました。

生活保護の基準改定に向けて

―物価高の中で今より減額になることは許せません―

今年10月に生活保護の基準額が改定されました。国は物価高の影響を考慮し、新しい基準額に1人千円を加算するとしています。低くなる人は現行を維持するとしています。

第58回しんぶん赤旗囲碁・将棋大会が開催

9月24日(日曜日) 茨木・豊能・高槻・島本地区の囲碁将棋大会が開催されました。コロナ禍の影響で4年目の開催です。この大会は地区大会・府大会・全国大会があり、優勝者は囲碁・将棋ともプロの新人王戦に出場できます。60年以上も前から実施している大会で、プロで活躍されている棋士のなかにもこの大会で優勝した方もおられます。



今年は高槻市独自で開催することができず、茨木・豊能地区と合同でさせていただきました。10代から80代までの幅広い参加者で戦われました。共産党と関係ない人でも誰でも参加できますので、ぜひ参加してみてください。

す。(当面2年間)

これによって増額となるのは0.2%〜4.2%、主に子育て世帯です。高齢の世帯や1人世帯は今より減ってしまいます。減る人は2年間は減らさないとされていますが、年金を受けていて少ないので生活保護を受けている人もおられます。今回物価高騰のため、年金が67歳以下は2.9%上がりました。その人たちは年金が増えた分、保護費が少なくなり、収入は変わりません。何のために年金をあげたのかわかりません。わたしは「国に対して、基準額を下げないように、年金が上がった分、保護費を引き下げないように要望を」と強く訴えました。

決算特別委員会

- 10月18日(水)
- 19日(木)
- 23日(月)
- 24日(火)

いずれも10時からです。ぜひ傍聴してください。

